

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	電話交換業務(備前)		コード	担当課係	総務課庶務係
			06-01-14-06	担当者	大峠一吉
事業実施期間	設定期間なし		電話	64-1807	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行政運営			
	小項目	その他事務管理			
	施策	総務庶務			

事業について	
目的	市民サービス
対象(誰のために)	市役所代表電話に掛けてこられた人
内容	担当部署への取次ぎ

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
電話取次ぎ	集計なし 件		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	6,211	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	4,786	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	10,997	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.62	人		人
結果指標名	電話取次ぎ			
結果指標量	集計なし			
単位	件			
対前年比	-			
事業費	10,997,000	円		円
単位当たりコスト①		円		円

結果指標名	電話取次ぎ			
結果指標量	集計なし			
単位	件			
対前年比	-			
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	正確な電話取次ぎ。	式又は説明	なし
成果指標量	17年度		
対前年比	-		
到達目標値	設定できない。	到達目標年度	設定できない。

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	代表番号をなくしたときの市民の反響は大である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	平成13年度にダイヤルインにしたが、代表番号は残している。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	相手の要件をすばやく理解し、的確な部署へ取り次ぐ。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		
コメント	各部署直通番号をお知らせしているが、取次ぎ件数が減少しているかどうかわからない。電話交換業務が通常業務に及ぼす影響は大である。今後、機会をとらえてさらに直通番号の周知が必要である。	評価区分 <A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。